

株式会社 KOKUSAI ELECTRIC

第10期

定時株主総会

2025年6月27日



報告事項





当期の経済情勢

世界経済

■ 緩やかな成長基調

欧州や中東における
地政学リスクの長期化

中国経済
の減速

米中貿易摩擦
の影響

各国の関税政策
に対する懸念



先行きに対する不透明感が継続

事業の経過及びその成果



当社グループを取り巻く事業環境

半導体デバイス市場

■ DRAM

生成AIの普及



先端DRAMに
対する需要が増加

■ Logic / Foundry

デバイスメーカーによる
投資動向にばらつき



先端ノード向けの
設備投資は加速

■ NAND

年度終盤に
回復の兆し



今後回復が
進むものと期待



今後の事業環境

半導体関連市場

■ 中長期的

スマートフォンやパソコン等の
電子機器の需要拡大

データセンターの拡充や
環境負荷低減への投資（GX）

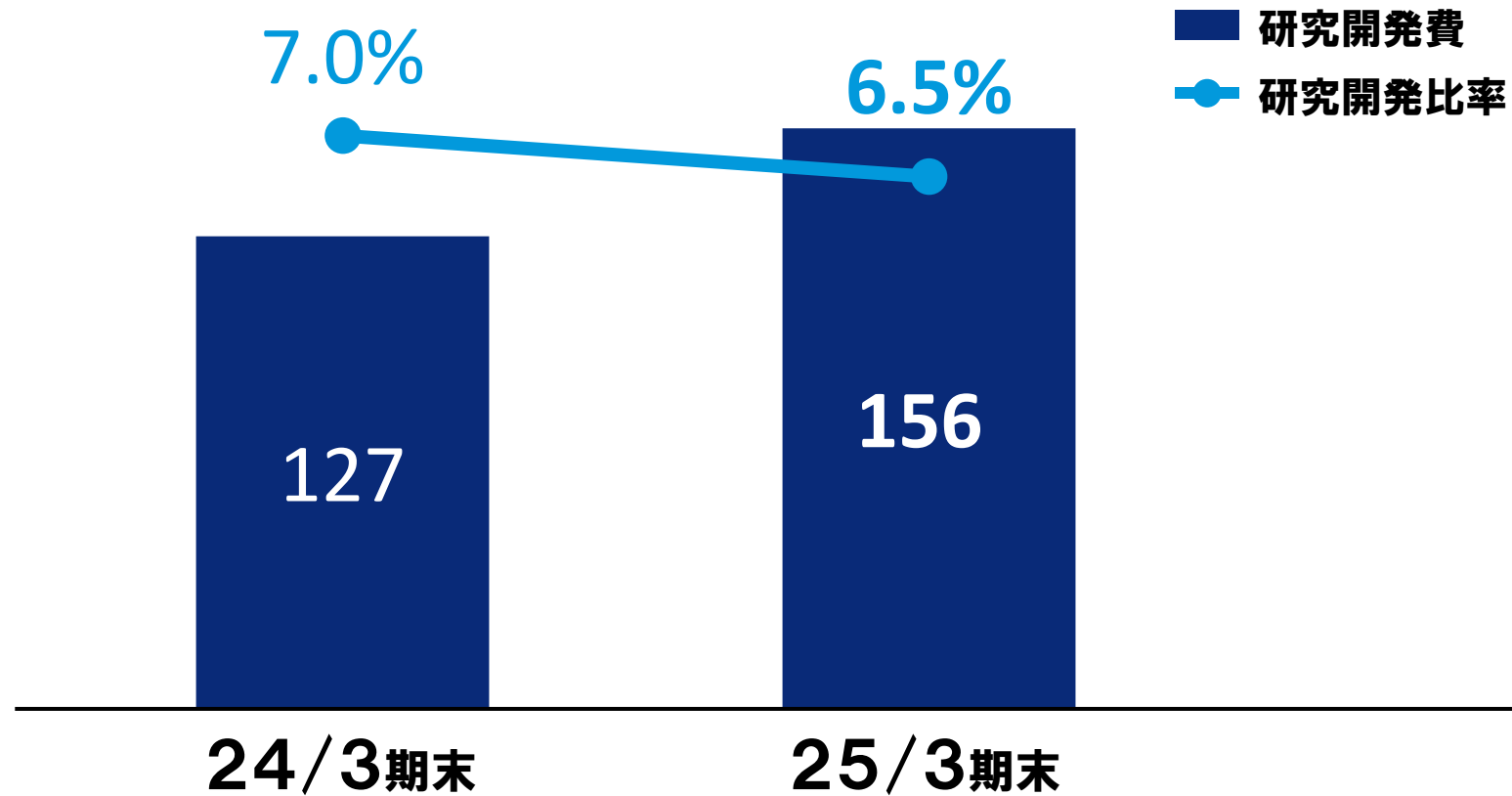


大きな成長が見込まれる

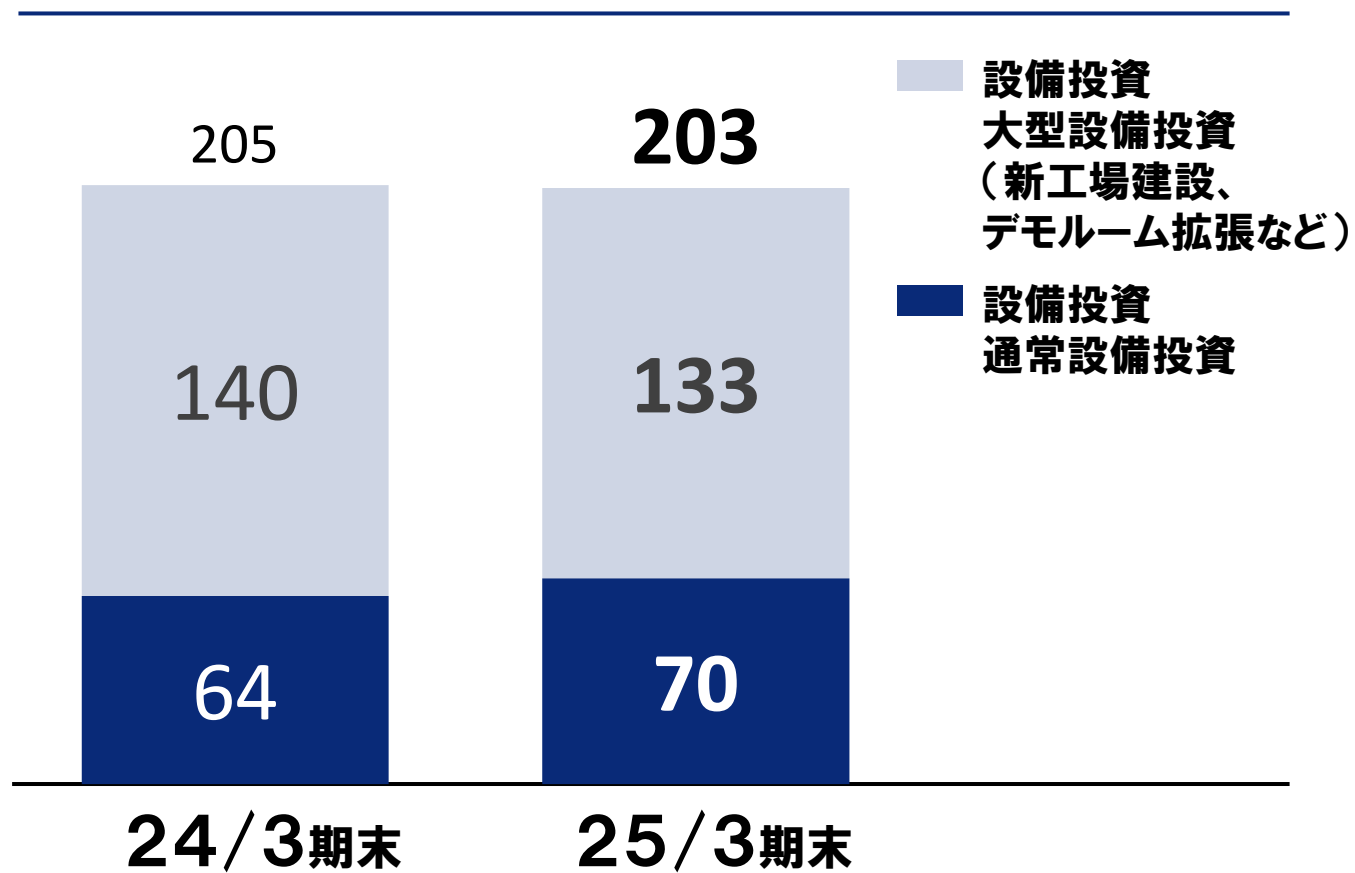
(億円)

24/3期末			25/3期末	
売上収益	1,808	△26.4%	2,389	+32.1%
営業利益	307	△45.2%	513	+66.9%
税引前利益	298	△46.8%	508	+70.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	224	△44.5%	360	+60.9%

研究開発費（億円）

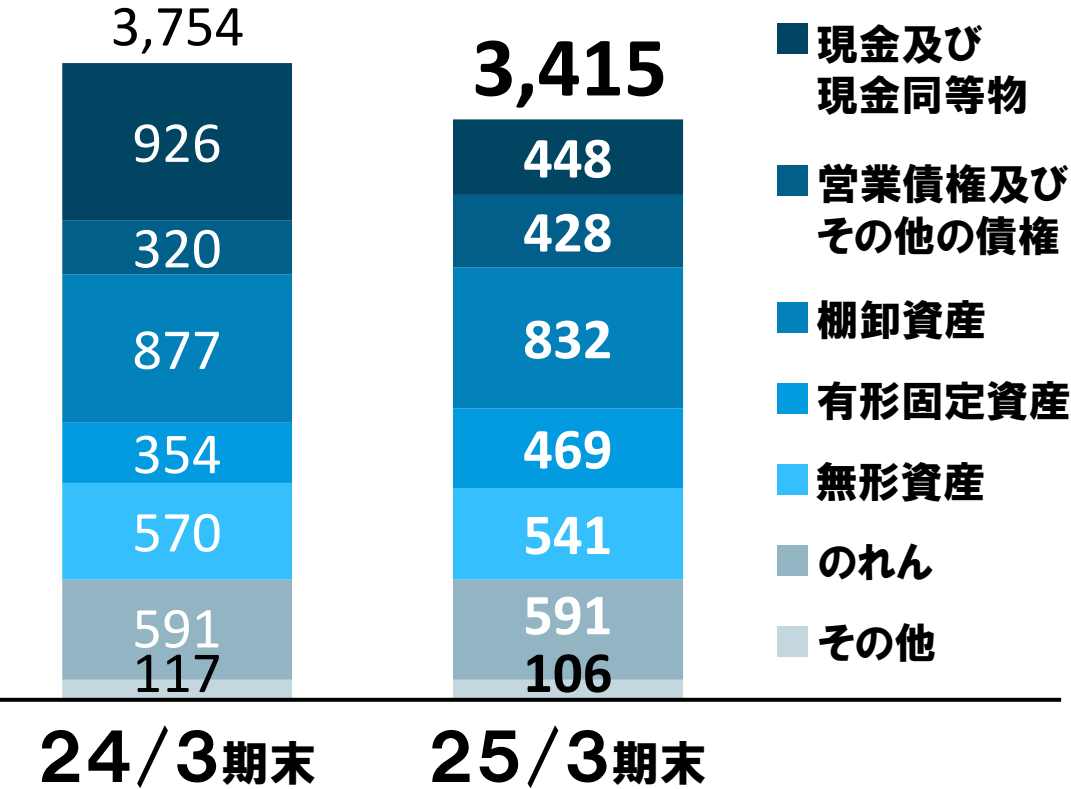


設備投資（億円）

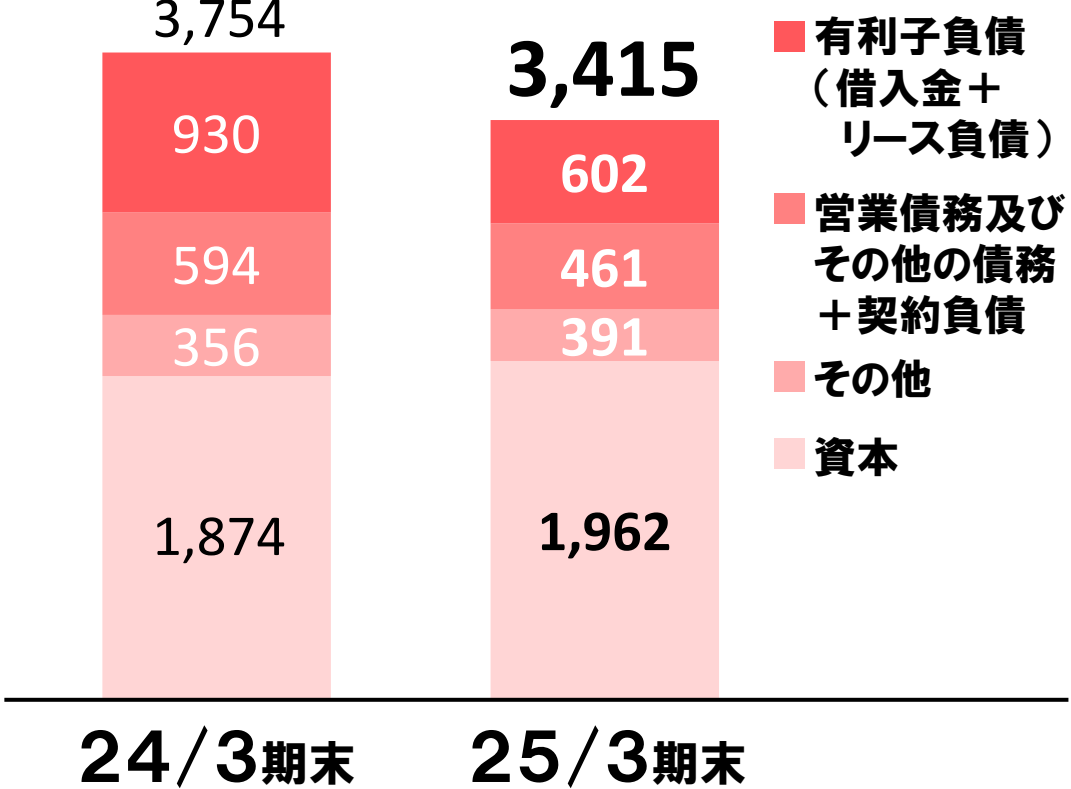


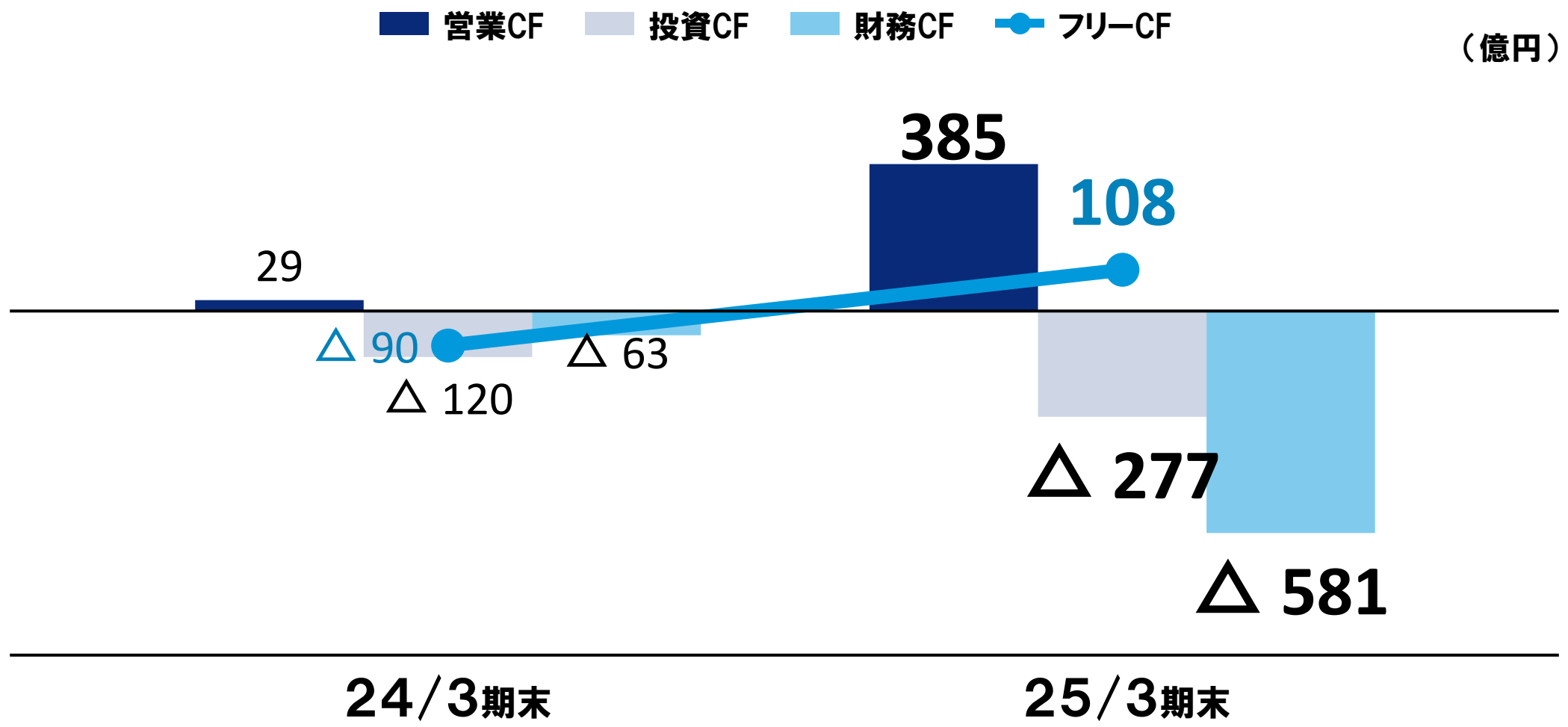
新 砺波(となみ)事業所

資 産（億円）



負 債 ・ 資 本（億円）





2026年3月期連結業績予想



(億円)

	25/3期末		26/3期末(予想)	
売上収益	2,389	+32.1%	2,440	+2.1%
営業利益	513	+66.9%	492	△4.1%
税引前利益	508	+70.7%	484	△4.7%
親会社の所有者に帰属する当期利益	360	+60.9%	360	△0.0%

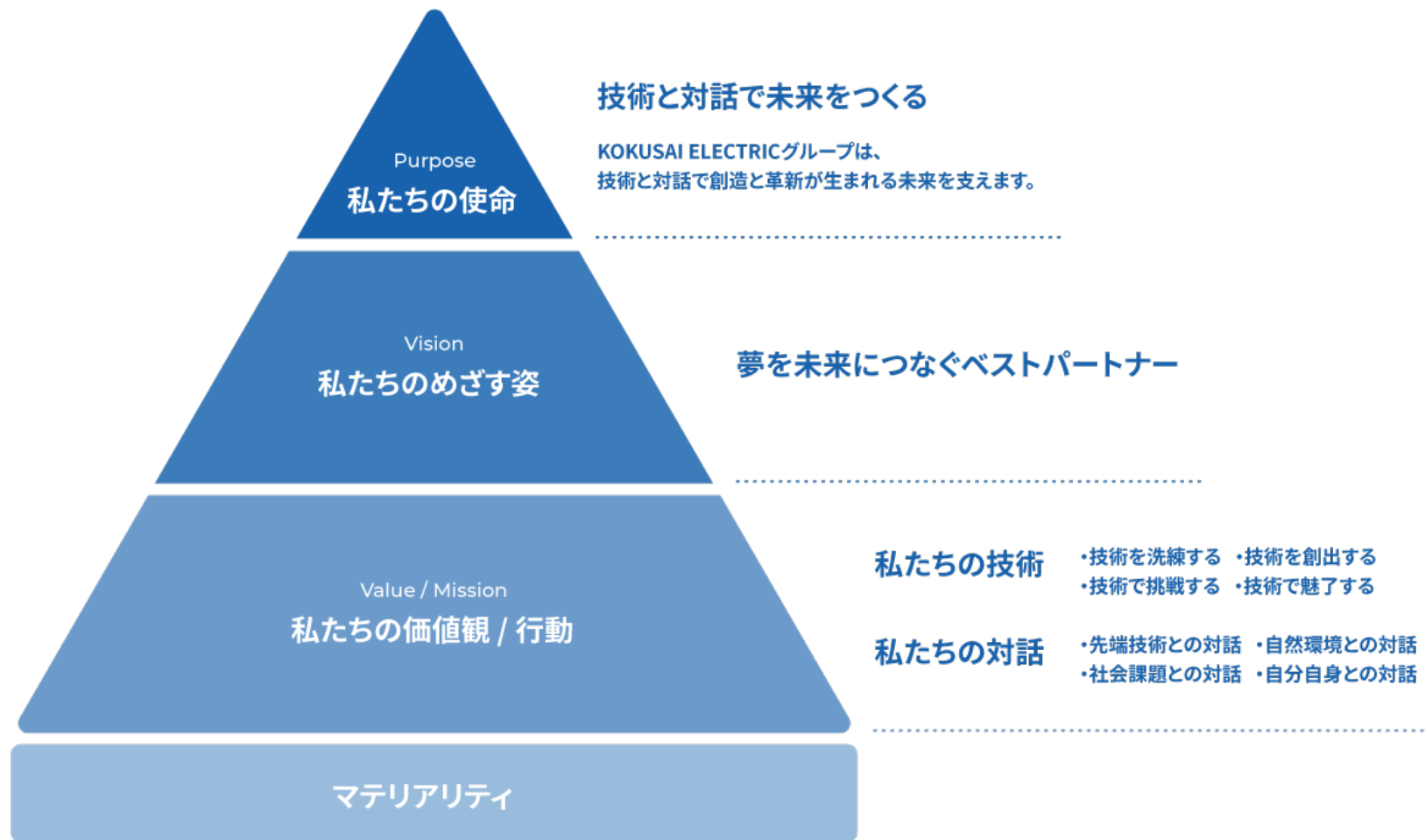
対処すべき課題



① 経営の基本方針

当社グループ
企業理念

「KOKUSAI
ELECTRIC Way」

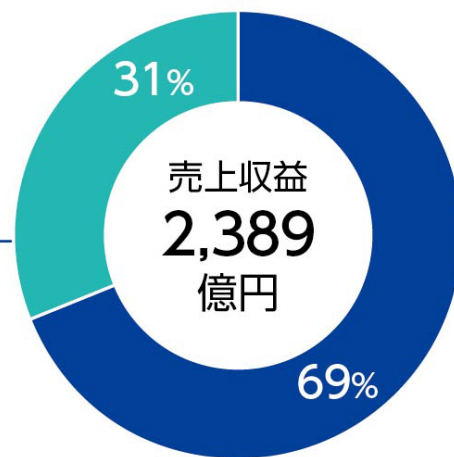


持続可能な社会の実現・当社グループの持続的な発展

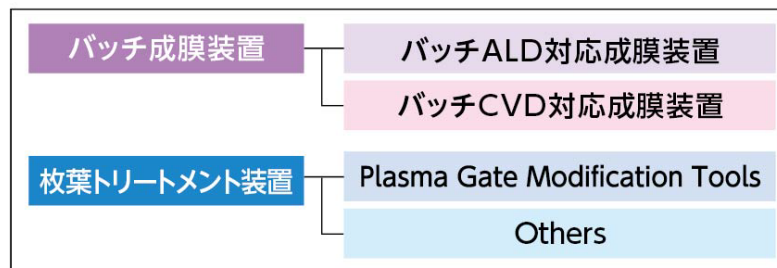
② 中長期的な経営方針

主な事業内容

2025年3月期
売上収益構成比



■ 装置ビジネス



■ サービスビジネス

装置ビジネス

バッチ成膜装置



TSURUGI-C²® 劔®



AdvancedAce®-300

枚葉トリートメント装置



MARORA®

サービスビジネス



部品販売、保守サービス、有償修理



装置の移設・改造



ウェーハサイズ200mm以下の装置と中古装置の販売

② 中長期的な経営方針

重点テーマ

- 環境負荷の低減
- 技術・製品を通じた環境への貢献
- 持続可能な調達の推進



重点テーマ

- 多様な人財の尊重
- 自ら学び、考え、実行する人財の開発
- 健康と安全の維持・向上



重点テーマ

- 新技術・新製品の創出
- お客様満足度の向上
- 経済パフォーマンスの向上



重点テーマ

- 人権の尊重



重点テーマ

- ガバナンスの強化
- 重大ビジネスリスク・マネジメントの徹底
- 経営の透明性確保



※マテリアリティ、重点テーマについては、2024年3月に開催したサステナビリティ委員会で見直した結果、変更がないことを確認しています。



半導体デバイス市場の成長

先端デバイスに
対する需要は増加

大きな成長が見込まれる

回復の機会を適切に捉える



次ページ以降に記載の①～⑤を推進します

① イノベーションによる高付加価値製品の継続的な創出とお客様のニーズを的確に捉えた開発体制の強化

■ お客様の先端デバイス開発スピードに応える

イノベーションを創出し、難易度が高い成膜技術等を用いた
当社が有する高付加価値製品の開発をさらに推進



韓国子会社
デモ評価エリア
拡張

横浜テクノロジー
センター設置

米国デモセンター
新設(予定)



② さらなる業績拡大のためのお客様への提案力の強化

■ 当社がNAND分野で培ってきた
先端プラットフォーム・プロセス技術

Logic/Foundry分野及び
DRAM分野へと展開

■ 新分野への挑戦を加速

パワーデバイス・成熟ノード・センサー
分野への取組みも継続して強化

コーポレートスローガン

「技術と対話で未来をつくる」



お客様が抱える課題を深く理解し、
その課題に対する解決策を積極的に提案



③ サービスビジネスのさらなる拡大

- 当社製品のライフサイクル全体でお客様のニーズに合わせたサービスを提供

部品販売・メンテナンスをはじめとする、
当社グループ全体での
オペレーションの最適化を推進



持続的な成長をめざす





④ グループ一体運営をはじめとする高効率経営の推進

- お客様のグローバル展開の進展に伴い当社グループの一体運営強化の必要性が増す

当社グループにおける営業、
設計、調達、生産及び
サービス業務の全体最適



生産管理や顧客管理等のシステム
の統合を含むDXの推進を加速





⑤ 多様な人財が活躍できる職場環境づくり

■ 当社グループが持続的に成長・発展

従業員一人一人の多様性を生かした
新たな価値創出の機会を積極的に
設け、その能力や才能を遺憾なく発揮



オープンな職場環境づくりをめざす



半導体製造装置市場の成長を前提として、中期目標を設定

	2025年3月期実績	中期目標
売上収益	2,389億円	3,300億円以上
装置ビジネス売上比率	69%	75%程度
サービスビジネス売上比率	31%	25%程度
調整後営業利益率	24.2%	30%以上
研究開発費（対売上収益比率）	6.5%	6%程度
（参考）ROE（自己資本利益率）	22.1%	25%以上
（参考）ROIC（投下資本利益率）	15.8%	23%以上
（参考）前提としたWFE市場規模	—	\$1,200億以上



■ 1株当たり配当金

	中 間	期 末	年 間
第 1 0 期	18円	19円	37円
第 1 1 期（ 予 想 ）	18円	18円	36円

株式会社 KOKUSAI ELECTRIC

第10期

定時株主総会

2025年6月27日

